

様々な血清抗体検査法

標的抗原：Nucleoprotein, Spike, ウイルス

測定系：イムノクロマト, ELISA, CLIA, ECLIA, 中和試験

- 既に多くのキットが研究用試薬として販売されているが性能評価が不十分なものが多い（欧米系大手企業製のキットはデータが多く信頼できる）。
- ELISAなどのウイルスタンパク質への結合抗体を評価する方法は、標的抗原の種類や製造方法により感度・特異度が変わるだけでなく、臨床的意義が変わる可能性がある。
- どの測定系が最も良いか世界的にも統一見解が得られていない
- ウイルス学における血清抗体検査のゴールドスタンダードは中和試験
- 中和試験は、スループットは低いですが、感染防御に寄与すると推測されている機能性抗体を測定ことができ、特異度が高い
- 中和試験のためには、活きたウイルスが必要でBSL3実験室内で実施する必要がある。
- 中和試験に代わるハイスループットな機能性抗体検査を開発する必要がある。